



# 但馬水産技術センターだより



## 漁況情報 (G1714号)

平成29年10月27日

兵庫県立農林水産技術総合センター  
但馬水産技術センター 発行

### 平成29年漁期ズワイガニ漁況の見通しについて

調査船「たじま」の調査結果などから見た今期のズワイガニ漁況の見通しについて報告します。

#### 1. 今漁期の見通し

①解禁直後(但馬沖漁場):解禁直後の但馬沖漁場での漁獲量は、オスがに(硬がに)は前年並みか前年をやや下回り、メスがに(クロコ)は前年を下回るでしょう。メスがにの漁場は水深 235-240m を中心に形成されるでしょう。オスがにでは中大型個体が比較的多いでしょう。

②漁期全般(浜田沖～丹後沖漁場):本県底びき網漁船が漁期全般を通じて利用する浜田沖～丹後沖漁場全体での漁獲量は、オスがに、メスがにともに前年並みか前年をやや上回るでしょう。

#### 2. 根拠となった情報

##### ① 解禁直後(但馬沖漁場)

###### 調査船「たじま」によるトロール漁期前調査(調査月:10月)

調査船「たじま」により、平成29年10月5～11日に、香住沖の水深200～350mおよび津居山・浜坂沖の水深235～245mに設けた計14定点(図1)でトロール網による試験操業(袖先間隔27m、3ノット、30分曳き)を実施しました。

・オスがに(硬がに):全調査点で入網がありました(表1、図2)。解禁直後に利用されるメスがに漁場水深帯(235-250m)での1曳網当たり入網数は3.2匹で、前年(3.7匹)および過去5年平均(5.3匹)を下回りましたが(表2)、全水深帯(200～350m)での1曳網当たり入網数は3.2匹で、前年(2.6匹)および過去5年平均(2.7匹)を上回りました(表2、図3)。サイズは甲幅13cm前後の中大型サイズが比較的多く混ざりました(図4)。

・メスがに(クロコ):津居山沖、香住沖、浜坂沖のいずれの海域でも水深235～240mを中心に入網しました(表1、図2)。メスがに漁場水深帯での1曳網当たり入網数は37.7匹で、前年(68.0匹)および過去5年平均(63.7匹)を大きく下回りました(表2、図3)。

##### ② 漁期全般(浜田沖～丹後沖漁場)

###### 日水研調査(調査月:5-6月)

水産研究・教育機構 日本海区水産研究所は、A海域(富山県以西)における平成29年漁期当初の資源重量について、オスがに、メスがに、ミズがにともに前年よりやや多いと推定しています(図5)。

#### 3. その他の情報

・11月中は再放流後の生残率が低いため、ミズがに・若齡がにが多数入網するエリアではできるだけ操業回数を減らすよう心掛けて下さい。

・アカガレイは水深275mでややまとまった入網が見られましたが、1曳網当たり入網重量は前年および過去5年平均を大きく下回りました。(表1、2)

・エチゼンクラゲは入網が認められませんでした。オオサルパの入網はごくわずかでした。

以上、操業の参考にして下さい。

お問い合わせ先:兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター (担当:大谷)

TEL:0796-36-0395 FAX:0796-36-3684

E-mail:nourinc\_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ:http://hyogo-suigi.jp/tajima/

資料①  
解禁直後  
(但馬沖)

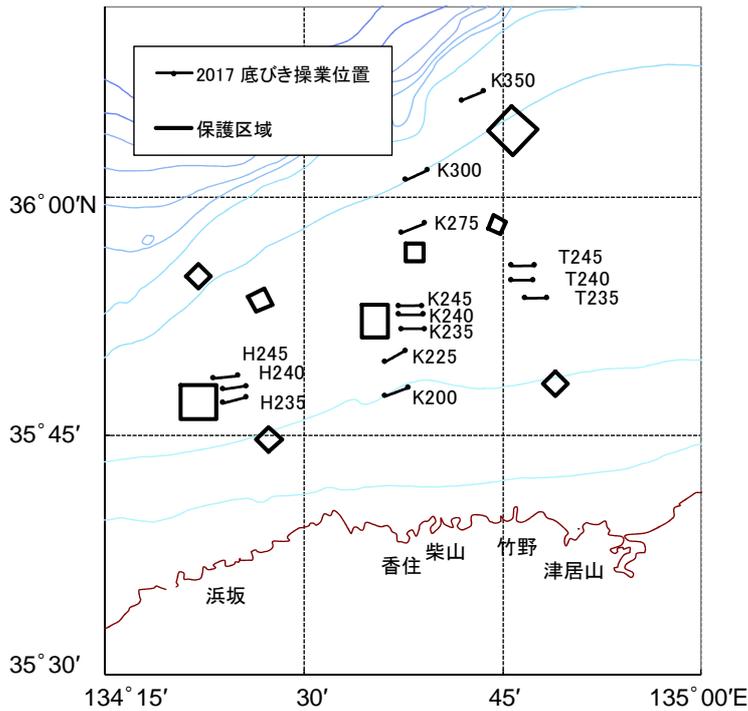


図1 但馬沖調査海域図

表1 操業点別のズワイガニ等入網状況

漁場	年月日	操業点	曳網水深 (m)	ズワイガニ 入網数(匹/網)			アカガレイ 入網重量 (kg/網)	海底 水温*4 (°C)
				オス*1	ミス*2	メス*3		
津居山・ 竹野沖	2017/10/5	T245	245→246	2	2	1	0.1	2.3
	"	T240	241	4	0	16	0.4	2.3
	"	T235	235→236	2	2	22	0.5	2.3
香住沖	2017/10/11	K350	342→336	5	12	0	3.2	1.1
	"	K300	302→304	4	18	0	3.7	1.3
	"	K275	275	4	10	0	47.1	1.7
	2017/10/10	K245	249→243	3	0	0	0.4	2.2
	"	K240	245→239	1	1	31	0.3	2.3
	"	K235	237→229	2	1	25	0.0	2.3
	"	K225	224→225	2	1	0	0.5	2.5
"	K200	199	1	8	0	0.4	3.0	
浜坂沖	2017/10/6	H245	245→248	5	0	19	1.1	1.5
	"	H240	239→241	6	0	75	22.3	1.8
	"	H235	235	4	1	150	14.2	1.7

表2 曳網当たり入網匹数の前年および過去5年平均との比較

水深帯	調査年	ズワイガニ 入網数(匹/網)			アカガレイ 入網重量 (kg/網)	エチゼンクラゲ 入網重量 (kg/網)	平均海 底水温*4 (°C)
		オス*1	ミス*2	メス*3			
メスがに漁場水深帯 (235-250m平均*5)	過去5年平均	5.3	1.6	63.7	8.4	25.4	1.9
	2016年	3.7	1.0	68.0	6.6	56.1	1.5
	2017年	3.2	0.8	37.7	4.4	0.0	2.1
全水深帯 (200-350m平均)	過去5年平均	2.7	19.0	11.1	16.3	22.6	1.7
	2016年	2.6	45.8	11.5	18.4	25.2	1.3
	2017年	3.2	8.3	6.3	9.9	0.0	1.9

\*1 硬がに(甲幅9cm以上・硬甲・ハサミ大) \*2 11齢(二皮)と硬がに以外の12・13齢  
\*3 漁期中にクロコになる個体 \*4 漁網監視装置より \*5 メスが集中分布. 解禁直後の主漁場となる.

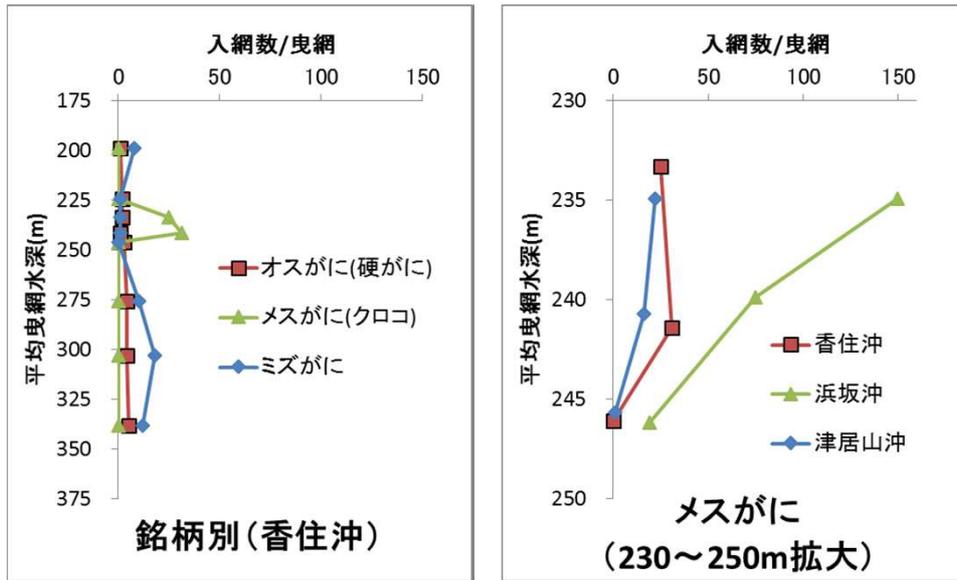


図2 曳網水深と入網数(但馬沖)

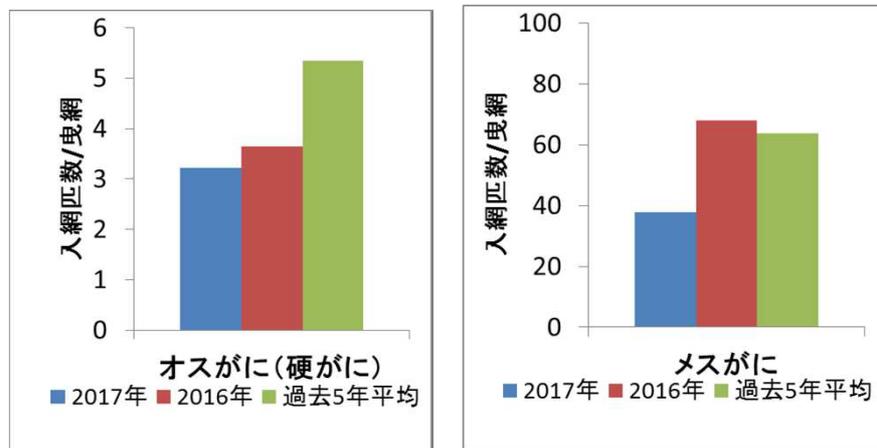


図3 平均入網匹数の過去との比較  
(但馬沖: 235-250m平均)

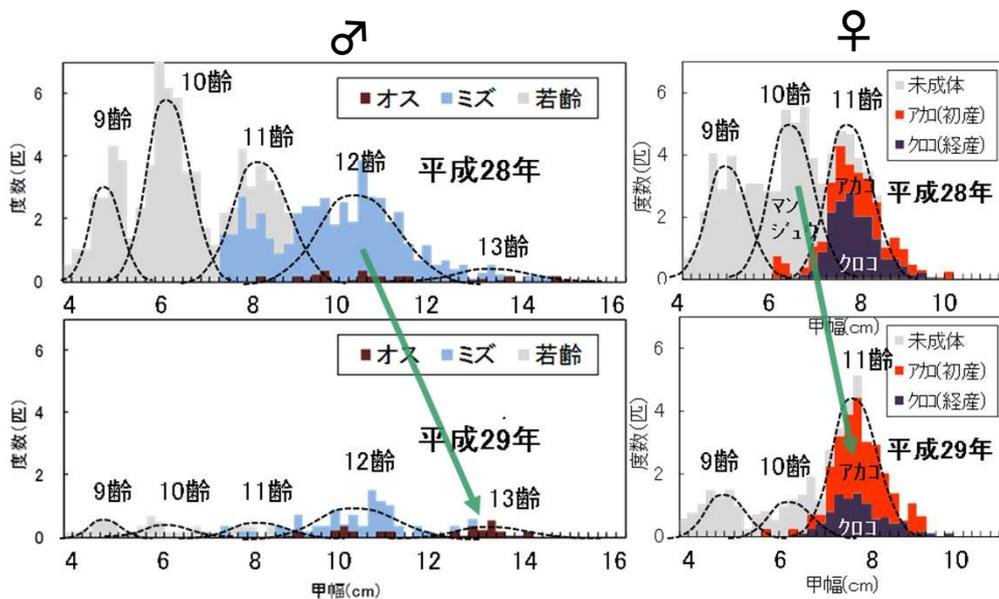


図4 トロール網による近年のズワイガニ甲幅組成(平成28・29年)  
(10月、但馬沖水深200-350m、1曳網当たり)

資料②  
 漁期全般  
 (日本海西部海域)

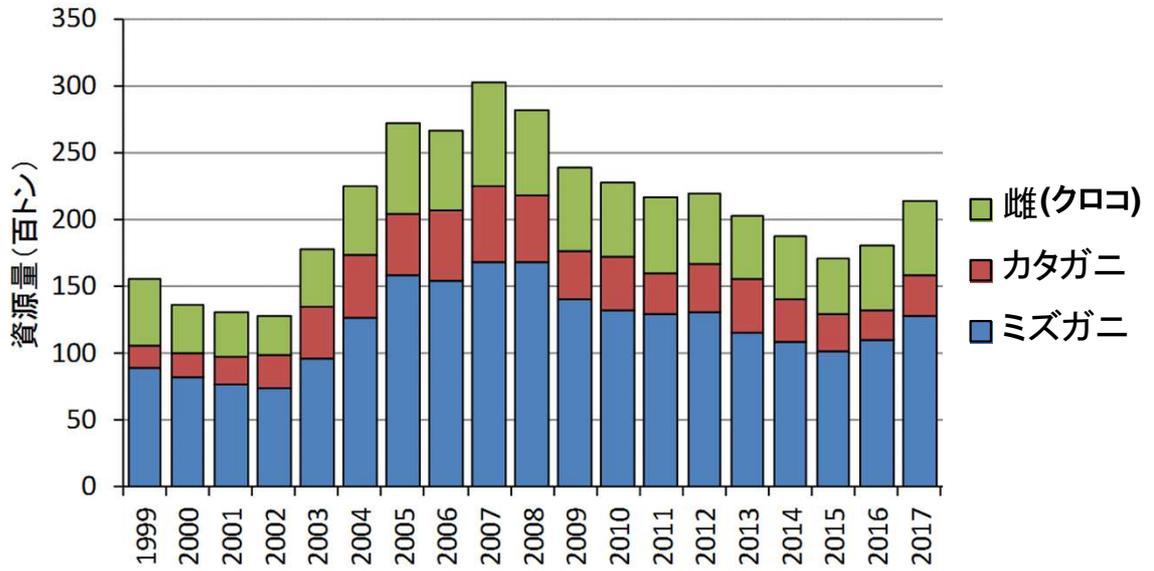


図5 日本海西部海域における推定資源量  
 (漁期開始時点)